



平安

あったかハートで Hey!安心!!

2月号

春はもうすぐ

学校長 中村 浩子

お正月を迎えたと思ったら、もう2月です。2月は、旧暦では如月と言います。語源としては、寒さが厳しくて着物を更に重ねて着ることから、「着更着(きさらぎ)」とする説が最有力だそうです。この言葉のとおり、まだまだ寒さが厳しく重ね着が必要です。

さて、2月3日(金)は節分です。節分とは、季節を分けるという意味で、立春の前日のことをいいます。寒さは厳しくても、暦の上では春に向けての準備が進んでいます。そして、節分と言えば「鬼は外、福は内」の掛け声とともに行う「豆まき」が伝統行事として受け継がれています。昔は季節の分かれ目、特に年の分かれ目には邪気が入りやすいと考えられており、さまざまな邪気祓い行事が行われていました。この豆まきも新年を迎えるための邪気祓い行事です。家の中の鬼(悪)を追い払い福(幸せ)を呼び込むという風習は、この行いをきっかけとして春に向かって、再度この1か月間を振り返るという意味でも価値があります。



そこで、新年を迎えて抱いた目標や希望、「今年は授業中に手を挙げよう!」「習い事を頑張ろう!」「友達とけんかしないで遊ぶぞ!」「きれいな字を書きたい!」「いいクラスにしていこう!」「朝、自分で起きる!」……。たくさんのやる気で臨んだ1月が終わります。この機会に、1月の生活を振り返ってみてはいかがでしょうか。新年の目標を達成することを妨げている自分にある邪気(弱い部分)を見つけてみてください。邪気を打ち払う計画を立て、新年度に備えることで、やがて来る春を待つのではなく、春を迎える気持ちで毎日の学校生活を送りたいものです。

現在、保護者の皆様には、学校アンケートをお願いしています。ここ数年、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校へ来ていただく機会が減っているため、学校の様子が見えにくいというお声もあるかと思えます。ニュースなどで報道されているように、2類相当から5類へ移行していくことによって、世の中はコロナ以前に戻っていくかもしれません。平安小学校では、コロナ以前と全く同じようにするのではなく、今の学校や子どもに何が必要か考えながら、保護者の皆様だけではなく、地域の皆様のご意見もうかがい、より良い学校生活が送れるようにしていきたいと思えます。ご協力よろしくお願いたします。

